

令和7年6月12日、松江農林高等学校総合学科において、1年生27名を対象に今年度第1回目の「高校生の林業学習」が実施されました。

総合学科の地域系列では、林業専門コースを設け、森林・林業についての講義や実習(学校林での伐倒・竹林整備・原木シイタケの植菌・木工作(イスづくり)体験)が計画的に行われています。

1年生を対象にした授業では、2年以降の専攻分けの判断材料とするため、島根県の森林・林業についての講義や島根県立農林大学校林業科の見学、チェーンソーの操作体験など実施されます。



今回は総合学科1年生の3分の1の27名が、森林・林業に関する講義とチェーンソーによる丸太切りを体験されました。



講義

「島根県の森林・林業について」

講師は島根県東部農林水産振興センター林業振興課

第二係長 武田一徹氏



1年生27名は講義の班とチェーンソーの丸太切り体験の班の2班に分かれ、1時間ごとに交代し、受講されました。

チェーンソーの指導は東部農林水産振興センターの松江地域林業普及課職員が行っていました。



生徒の皆さんは熱心に受講され、丸太切り体験では、再チャレンジされる生徒もいました。